

平成 30 年

第 7 回  
教育委員会会議録

行橋市教育委員会

平成 30 年 7 月 26 日(木)

## 教育委員会会議録

- 1 招集日時  
平成 30 年 7 月 26 日(木) 13 時 13 分～
- 2 招集場所  
市役所303会議室 (3階)
- 3 出席委員  
教育長 笹山 忠則  
教育長職務代理者 末次 龍一  
委員 水谷 知子  
委員 金澤 精子  
委員 大宮 克弘
- 4 欠席委員 無
- 5 出席職員等 米谷教育部長  
土肥教育政策課長  
丸山学校教育課長  
山本指導室長  
岩本防災食育センター長  
上田生涯学習課長  
橋本文化課長  
増田スポーツイベント課長  
大園教育政策係長
- 6 議題及び議事の概要  
別紙
- 7 閉会 14 時 4 分

教 育 長

---

教育長職務代理者

---

議事録調製者

---

平成30年7月26日

開議 13時13分

## 1. 開会

○教育政策係長 大園健朗君

それでは、定刻より少し早いんですが、皆さん、お揃いですので、ただいまから30年第7回の教育委員会を開催したいと思いますのですが、開会前に、きょう、大宮委員が急きょ手術が入ったということで御連絡いただいて、少し遅れるということですので、御報告をさせていただきます。

では、教育長、よろしくお願いします。

○教育長 笹山忠則君

それでは、平成30年第7回教育委員会を開催させていただきます。

はじめに、ちょっと提案でございますが、今回は、このように次第を作っておりますけれども、少し順序を変えさせていただきたいと存じまして、会議録の承認、それから教育長事務報告等がございますけれども、この中の議事の第34号に関しましては、最後にもっていかせていただきたいと思います。

そして、この議事に関しましては、議案第34号は教科書の採択ということでございますので、毎回、この教科書の採択に関しましては、非公開で行わせていただいております。そのようなかたちで皆さんの御了承をいただきたいと思います。

よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございます。

それでは、一部この次第とは異なりますけれども、進めさせていただきます。

## 2. 前回議事録の承認

○教育長 笹山忠則君

では最初に、前回会議録の承認でございます。

前回の会議録に関しましては、もう既にお手元でございますように、目を通していただいております。

それでは、この前回会議録を御承認いただけますでしょうか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございます。御承認いただきました。

## 3. 教育長事務報告

○教育長 笹山忠則君

では、続きまして、教育長事務報告に移らせていただきます。

6月26日から7月25日までの1カ月間に起こりましたこととさせていただきます。

まず、6月27日、28日、29日の午前中に校長の面談をいたしました。これは、校長の学校経営計画について聴取するものであります。学校経営計画に関しては、特に人材育成の方針と、それから教育課程の運営方針について聴きました。これで、最初に、校長がこの1年間どういう方向で進むか、ということ聞いたわけとさせていただきます。

それから、同じく教頭に関しても面談をさせていただきました。教頭は7月17日、18日、19日の3日間、教頭ヒアリングというかたちで行いました。これも小学校、中学校、小学校というかたちで3日間かけて行いました。

それから、引き続きまして、高槻市の事件を受けて、ブロック塀の危険箇所に関しまして、実地に視察にまいりました。行橋南小学校、椿市小学校、今元小学校の3箇所を特に見てまいりました。夏休み中に改修の予定を立てております。

それから、中学校総合体育大会がございました。7月8日日曜日と7月14日の土曜日の2日間、剣道、サッカー、野球、卓球、バスケットボール、ソフトテニス、これだけの会場を見てまいりました。子どもたちは大変元気に行っております。

それから、要請学校訪問が7月10日にございました。ここは長峽中学校に県の事務所のほうから訪問をしていただいて、1年生の数学と、それから理科のそれぞれの授業の視察をしていただきまして、授業改善や学校運営についてご意見をいただきました。

それから11日は、郡市少年の主張弁論大会がコスメイトでございました。ここでは今元中学校の生徒が最優秀でございました。眼鏡は自分の一部である、といった主張に対しまして、大変共感が寄せられました。

それから、連歌の大会等がございました。熊野神社で鉦おろし連歌が7月14日にございました。

それから、同じく連歌で、須佐神社で社頭連歌がございました。今月末にはもう1回ございますけれども、このような連歌に関しまして、同時に連歌の講座が浄喜寺で開かれました。これが21日であります。連歌の講座に関しましては、中学生と高校生が市を超えてやってまいりました。

この連歌に関しましては、特筆するところでございまして、ドイツのハンブルク大学の先生が連歌の研究をしているということで、御夫婦で、この連歌の見学をされております。ハンブルク大学の女性の教員でありました。

あと教科書の採択に関しまして、6月27日と、それから7月25日に採択協議会を開きました。

以上、かいつまんで説明をさせていただきました。これに関しまして、補足等必要でございましたら、お願いいたします。

○委員 金澤精子君

12日の定例校長会で、もしかしたら先月ここで審議しました職員のストレスチェック、これを出されたのでしょうか。

○教育長 笹山忠則君

これは、指導室にお願いします。

○指導室長 山本有一君

概要だけで、細かい部分については、また文書で通知をいたしますということを伝えていきます。

○委員 金澤精子君

そうですか、分かりました。ありがとうございます。

○教育長 笹山忠則君

ほかに、ございますでしょうか。

(「ありません」の声あり)

それでは、教育長事務報告は、これで終わらせていただきます。

#### 4. 議事

##### (1) 議案第35号 行橋市教育委員会外部評価委員の選任について

○教育長 笹山忠則君

続きまして、議事に移ります。

議案第35号に関しまして、行橋市教育委員会外部評価委員の選任について、でございます。

教育政策課から説明をお願いします。

○教育政策課長 土肥麻紀君

教育政策課より説明させていただきます。議案第35号 行橋市教育委員会外部評価委員の選任について、でございます。

前回の6月26日に開催されました教育委員会の中で、外部評価についての議案としてあげさせていただいておったものでございます。

今回は、その外部評価委員の案を資料として添付しております。この案について、承認を伺いたいと思います。御協議をお願いいたします。

○教育長 笹山忠則君

お手元の資料を御覧ください。

○教育長職務代理者 末次龍一君

これは再任ですか。

○教育政策課長 土肥麻紀君

そうですね、上から永添委員は平成21年からしていただいております、山縣委員は24年、春田委員も26年から、任期としては2年ですけれども、ずっと外部評価委員として協力をいただいております。

○教育長 笹山忠則君

大宮委員。

○委員 大宮克弘君

外部評価委員というのは、第三者的な立場で評価をするわけですよ。その委員が再任はいいと思うんですけれども、あまりにも長きにわたり再任されるというのは、外部評価を適正にするという観点からは、僕はあまりよろしくないと思いますが、いかがでしょうか。

○教育長 笹山忠則君

いま大宮委員のほうから、長期にわたる委員は、外部評価委員に関して好ましくないのではないか、という御指摘がありました。

他の委員の皆さんは、いかがでしょうか。

末次委員。

○教育長職務代理者 末次龍一君

まあ、人がいないと言えないののかも分からないけれども。外部評価委員というのは、仕事としては、教育委員会の評価だけで、他に何か活動というのは別になんてか。

どうなんでしょうか。先生の言われることは重々分かります。

○委員 大宮克弘君

この外部評価委員を決めるにあたっての選考基準というは何ですか。

○教育政策課長 土肥麻紀君

特段、今のところは。

○教育政策係長 大園健朗君

外部評価委員の委員さんの対象として、学識経験者の方の中から選ぶというかたちにはなっているんですけれども、学識経験者の中で、具体的にどういう方を選ぶかという基準までは設けておりませんので、もしこの中の一人の委員さんが辞められる、退任されるということになれば、学識経験者の中から教育委員会が選ぶ、ということになります。

○委員 大宮克弘君

学識経験者の中から選ぶということは分かるんですけれども、どういう方法でこの方たちをお選びになられたんですか。

○教育長職務代理者 末次龍一君

たぶん答えに困ると思うんだけど、一応、この近大と西日本工業大学というのは、行橋の教育がらみでは外部評価だけではなくて、前は教育推進委員会とか、そういうのもたぶん大学から出て来られたりとかされていたと思うんですけども、全く畑が違うところで一般公募みたいなかたちでは、やはりちょっとそれはいろいろ問題も出てくるかも分からないし、あくまでも教育委員会と教育委員の活動に対して、いろいろ評価をいただくということであれば、我々は、どんな人が委員になっても、自分がやることは決まっているわけですから、それはやぶさかじゃないけれども、人選となったら、いろいろと難しい部分があるのかなという気もせんでもないです。

だから先生が言うことも分かるけれども、人選も難しいだろうなと思うところもあります。

○委員 大宮克弘君

人選は難しいと思います。例えば教育委員一人決めるのも大変ですよ。しかしですよ、外部評価というのは、昨今いろいろなところで、やはり問題になっていることが多いですよ、内部の不祥事だとか、内部の問題というところで、そして第三者委員会をつくりなさい、外部評価委員会を改めなさい、全く利害関係のない人でつくりなさい、というような話題がしょっちゅう出ている中で、そこを、今の委員さんたちが悪いとは僕は思わないですが、そういう社会の流れも踏まえて、一度、見直す機会とかいうのもつくられてはどうかと思います。

○教育長 笹山忠則君

教育部長。

○教育部長 米谷友宏君

大宮委員さんの御指摘は妥当なところかなと思います。やはり期数が増えてくることによって、どうしても毎回、任期ごとに議案の紹介をするんですけども、やはり組織としては、やはり多数期にわたるといのは、少し考えていかないといけないことだと思いますので、今後その部分につきましては、確かに期数の長い方もいらっしゃいますので、また次期に向けては、その部分を考慮に入れて早々に人選にかかりたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

○委員 大宮克弘君

よろしく願いいたします。

○教育長 笹山忠則君

では、検討させていただきます。

○教育長職務代理者 末次龍一君

マンネリ化しないように考慮しながら人選していくということ。だから安易に今までやってきたから続けてもらうという考えじゃなくて、それは毎回決めるときには、そう

いう意識でやってもらいたいということです。

○教育長 笹山忠則君

それでは、そういう御指摘を受けたことを踏まえまして、また次回以降はそのようなかたちでやらせていただこうと思いますが、今回は、すでにもうこういうかたちでの提案をさせていただきたいと存じますので、この提案に関しまして可否をお願いしたいと思います。

○委員 金澤精子君

承認します。よろしくをお願いします。

○教育長職務代理者 末次龍一君

もう今回は、これをお願いします。

○委員 大宮克弘君

基本的には承認です。これは教育長とか市長が、この方々と面談なり何かをする時間というのはあるんでしょうか。

○教育長 笹山忠則君

まずありませんけれども、ただよく存じ上げてはおります。慣れ合いにならない程度には存じ上げております。

○教育長職務代理者 末次龍一君

かつて金澤委員も外部評価委員でしたね。

○委員 金澤精子君

はい。

○教育長職務代理者 末次龍一君

それで、そのときは、結構、御指摘をたくさんいただいたんです。だから僕自身は、外部評価委員としてしっかり見てくれているな、と。逆に言ったら、けむたい部分もありますよ。ここまで言うか、というところもあるけれども、だけどししっかり、やはり外部評価委員は外部評価委員としての機能を果たしていただけている、というふうに僕は今まで思っていました。

○委員 金澤精子君

行橋市が、この外部評価委員制度を入れたのが、平成21年だったんじゃないかなと思います。

○委員 大宮克弘君

それでは最初の方がずっといるということですか。

○委員 金澤精子君

そのときから近畿大学の先生がおられました。だから評価の仕方が、最初のころと随分変わってきたことも分かっているし、そして学校の内部を評価じゃなくて、



委員会が自己評価されている、その評価の仕方を外部の評価委員の先生が見ていらっしゃるから、長きという部分がマイナスだと思う部分があれば、反対にメリットの部分もあるんじゃないかなというふうに、変化をずっと見てこられていると思います。

また、この先生も忙しくなったときには、また中が変わってくるというかたちになるんじゃないかなと思います。

○委員 大宮克弘君

結構です。

○教育長 笹山忠則君

よろしいですか。

それでは、この3人の先生方に、今回も外部評価委員を委嘱させていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございます。

## 5. 協議・報告事項

### (1) 第2回ゆくはし国際公募彫刻展の二次審査結果について

○教育長 笹山忠則君

それでは、次の協議・報告事項に移らせていただきます。

第2回ゆくはし国際公募彫刻展の二次審査結果について。これは文化課に説明をお願いします。

○文化課長 橋本明君

文化課から報告をいたします。第2回ゆくはし国際公募彫刻展最終審査結果と書かれた資料をお願いします。

第2回のゆくはし国際公募彫刻展につきましては、もうすでに新聞等で報道されてありますので、皆さん御存知かと思いますが、改めまして、私のほうから内容の報告をさせていただきます。

入賞作品5点、そこに書いております5点ですが、5月12日に一次審査が行われまして、この5点が選ばれております。これについては、5月の教育委員会の中でも御報告をさせていただきました。

その後、この5点の内から大賞を決定する最終審査が6月27日に実施をされました。場所についてはコスメイト行橋の企画展示室ということで、当日、出席された審査員の先生は、九州大学の後小路先生、それから元講談社INTの編集者の鈴木先生、それから田中行橋市長が出席されました。

それとは別に、当日、出席することはできなかったんですが、上越教育大学の名誉教

授でいらっしゃいます峯田教授、それから第1回の大賞受賞者の奥村さんが、事前に資料をお送りしまして審査をしていただいた。その峯田先生と奥村さんの審査の意見を当日、審査員の皆さんにお渡ししまして、それを参考にしつつ、大賞決定の審査の協議を行った、というかたちになっております。

また大分大学の田中修二先生につきましては、アドバイザーをしていただいております。

審査方法ですが、一次審査のときにつきましては、画像それから写真をもとに審査をしましたがけれども、最終審査につきましては、マケットと呼ばれる模型と、実物の頭部像を見て審査を行っております。

結果を申しますと、卑弥呼をモチーフにした窪信一朗さん、鹿児島の方ですが、この方が大賞を受賞されて、賞金1千万円というかたちになっております。

次のページをお願いします。市民賞です。市民賞につきましては、文字通り市民の方に投票していただいて、一番多く得票された方が市民賞を受賞というかたちになっております。6月9日から25日までの間にコスメイト行橋ほか5施設、5箇所では基本的にはパネルを用いた、パネルを見ての投票というかたちにしております。ですが、この内、コスメイト行橋、赤レンガ館については、そこに記載している日程で、マケット、それから等身大の像を実際に持ち込んで、それを見ていただいて投票をした、というかたちになっております。

結果といたしましては、アテナというギリシャ神話に出てくる知恵の女神をモチーフにした高野真吾さんの作品が市民賞に選ばれております。これについては、賞金20万円となっております。

次のページをお願いします。子ども大賞ということですが、こちらにつきましては、今回初めて創設をした賞になります。市内の小学校5・6年生、及び中学校の全学年の児童生徒の皆さんに、投票することによってビエンナーレに参加していただく、できればそれが情操教育につながればなというところで、今回、初めて実施をさせていただきました。

中身としては、市民賞と同じようにパネルを学校内に掲示をして、それを見て投票をしていただく、というかたちなんです、その中で、タブレットを先行導入しております行橋北小学校と長峡中学校につきましては、そのタブレットで3D画像を見ながら、また投票についても、ウェブで投票をするという仕組みで、ICTを活用した投票というのを実施させていただきました。

結果としましては、市民賞と同じアテナが子ども大賞を受賞しております。この子ども大賞につきましては、賞金も商品もございませんで、名誉だけというかたちになっております。

次のページに大賞を受賞された窪さんの、受賞された感想と、その次のページには市民賞と子ども大賞を受賞された高野さんの受賞の声、それからプロフィールを載せております。

また、その次の最後のページになりますけども、審査員の方の講評を載せております。

鈴木先生の講評のところに書いておりますが、5点の内から3点をまずは選出しました。その3点については、卑弥呼・アテナ・ミケランジェロというかたちになっております。実際には審査員の先生方3人いて、この3点を選ばれて、三者三様というかたちで、途中、一步も引かない、誰も引かない、というような展開もありましたけども、最終的には後小路先生のところに書いてあると思います、一次審査でそれほど注目を集めなかった卑弥呼は、というところで、一次審査の写真のときには、正直そこまで票が入りませんでした。ただ、実物を見たときに、凄くそのギャップがたぶんあったんだろうと思います。どの先生方も写真より全然いいね、というかたちで、注目を集めたところ です。

田中修二先生の講評の中にもあります、写真、映像による一次審査のときよりも作品がよくなっている、という意見が複数あったというところで、またその後半にも書いておりますけれども、作家の皆さんの将来性にかけていこうという方向性ももって、というところで、最終的に、この卑弥呼の作品を作られた方を、将来性も見越して大賞にしようということで決定をされた、という経緯になっております。

このビエンナーレが1回目については、結構ビックネームで、奥村さんという方が受賞されたんですが、2回目は、ある意味若手の方が受賞されておりますので、これが若手彫刻家の登竜門的な位置づけになっていけば、という目論見を兼ねての今回の大賞の決定だったというふうに考えております。

以上で説明を終わらせていただきます。

○教育長 笹山忠則君

ありがとうございました。

ただいまの報告に関しまして、御質問等がございましたら、お願いします。

(「ありません」の声あり)

## 6. その他

### (1) 小学生読書リーダー養成講座について

○教育長 笹山忠則君

では、次に移らせていただきます。

その他、1番目、小学生読書リーダー養成講座について。これは指導室に説明をお願いします。

○指導室長 山本有一君

指導室より説明いたします。小学生読書リーダー養成講座の要綱を1枚お付けしております。

これは毎年実施をしているもので、各小学校から読書好きの子どもたちに募集をかけまして、大体2名程度で、こちらのほうに参加をしていただいております。

もう日時を見ていただければお分かりのとおり、昨日から始まっております。午前中の活動なのですが、図書館見学、それから読み聞かせの練習、発表、そしてポップ作り、本の紹介カードになります。これを作成していくという、そういう3日間のスケジュールになっておりまして、あと明日もう1日、この本の紹介カード、ポップ作りが残っている状況です。

子どもたちの様子を見る中で、やはり自分たちが、最初は読書好きというところで参加をしているんですが、9月からの読書リーダーということで、本の楽しさ、それを各学校で伝えていくという役割を、しっかり意識を持っていただくというような講座になるように、こちらも工夫をしたということです。以上です。

○教育長 笹山忠則君

ありがとうございます。

予定が、明日まだございますので、もしお時間がございましたら、どうぞ見学のほど、お願い申し上げます。

○委員 金澤精子君

昨年度は8月実施でしたね。

○指導室長 山本有一君

はい。

○委員 金澤精子君

それで私は行かせてもらったんです。そうしたら、子どもさんも頑張っていたけれど、司書の先生方が大変頑張っていたのが印象的でした。

○指導室長 山本有一君

ありがとうございます。これには学校の図書館教育担当教員も参加していただいておりますが、やはりメインは図書司書の方と読書ボランティアの方が中心になって指導、助言をいただき、教員のほうは子どもたちのまとめというか、補助的な立場でかかわるといふかたちでやっております。

○教育長 笹山忠則君

以上でございます。私も明日は閉講式と、その前にちょっと見学をしようと思っております。

## (2) 中学生夏休み英語宿泊体験について

○教育長 笹山忠則君

それでは、続きまして、2番目の中学生夏休み英語宿泊体験について、これも指導室に説明をお願いします。

○指導室長 山本有一君

引き続き指導室から御説明を差し上げます。これも毎年やっているものでございます。毎年やっているから、というよりも、やはりこの1泊2日の中学生の宿泊体験はオールイングリッシュで生活をするという、日常、中々経験できない、そういう体験でありまして、毎年、参加者は多いです。

今年、先日、グレースチャーチスクールの訪日に関して、いろいろ委員の皆様には御協力、御理解をいただき、御迷惑をお掛けしたところもございましたが、一応このグレースチャーチスクールに行く年は、その子どもたちも、この宿泊体験に参加するようなかたちで、研修の一つとしての位置づけもでございます。

本年度は、8月23、24日で実施をする予定です。スケジュールとしては、ここに書かれている内容で、オールイングリッシュというところが中心になりますが、本市のALTと事務所のALTに協力をいただきながら実施をしていきます。以上です。

○教育長 笹山忠則君

どうぞこちらのほうも時間がございましたら、のぞいていただければ幸いです。

## (3) ゆくはしオープンウォータースイムレースの開催について

○教育長 笹山忠則君

では、3番目、ゆくはしオープンウォータースイムレースに関して、これはスポーツイベント課に説明をお願いします。

○スポーツイベント課長 増田昇吾君

スポーツイベント課から説明させていただきます。大会パンフレットを添付しておりますので、御覧ください。

8月4日、5日に蓑島海水浴場におきまして、第2回ゆくはしオープンウォータースイムレースを実施いたします。昨年は台風により中止となっておりますので、今回は実質初めての大会となります。

初日の4日にはシドニー・アテネオリンピックの競泳代表の山田沙知子さんが来られ、水泳教室を行う予定となっております。

また5日には、500m、1km、1.5km、3kmの個人種目と4人掛ける400m、合計1600mを泳ぐ団体種目が開催される予定となっております。以上でござ

います。

○教育長 笹山忠則君

それでは、先ほど申しましたかたちで、予定したものはここまででございます。  
では、最後に次回の日程をお願いします。

○教育政策係長 大園健朗君

次回の教育委員会の日程ですが、事務局案といたしまして、8月28日火曜日か、8月30日の木曜日を考えておりますが、御予定はいかがでしょうか。

(「どちらでも結構です」の声あり)

よろしいでしょうか。それでは、次回は8月28日の火曜日の13時15分から開催したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○教育長 笹山忠則君

ありがとうございました。

それでは、本日の公開による議事等はここまででございます。

## 7. 議事

### (1) 議案第34号 教科書採択について

○教育長 笹山忠則君

これ以降に関しましては、非公開で進めさせていただきたいと存じます。

(関係者以外、退室)

(議案第34号については、非公開につき議事録なし)

○教育長 笹山忠則君

議案第34号の教科書採択について、御承認をいただきました。

以上をもちまして、本日の日程はすべて終了いたしましたので、定例教育委員会を閉会いたします。

閉会 14時04分